



心は枯らさない

この連載で今まで書かせていただいた最高齢の死は、昨年3月に亡くなった美術家の篠田桃紅さんでした。今回は桃紅さんとタイ記録の107歳。我が国初の女性報道写真家として活躍した笹本恒子さんが8月15日、鎌倉市の高齢者施設で死去されました。老衰との発表です。

笹本さんは1914年生まれ。第一次世界大戦が勃発した年です。日本がドイツに宣戦布告した1週間後に彼女は生まれ、4歳の時に終戦。9歳の誕生日には、東京で関東大震災を経験。そして1940年、26歳の時に写真家としてデビューします。太平洋戦争前夜のことです。今より何倍も男尊女卑が酷かった時代、「男が出来る仕事を女が出来ないわけがない」という想いで、肩肘張って写

270 報道写真家 笹本恒子氏



100歳超えても長生きする秘訣は恋心

長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

「働く女性たちにとってあげた『好奇心ガール』(小学館)という著書で、このように書いています。しかしある先輩に、「女性の目を見て、撮りなさい」と言われ、憑き物が落ちたのだとか。「好意ガール」(小学館)という著書で、このように書いています。

「90歳を超えても恋をするなど」というと、年甲斐もないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、これは、あくまで肉体のお話。笹本さんのご著書を読むと、「肉体は枯れても、心はいつまでも枯らさない」ことこそが、100歳を超えても元気に生きる鍵であるとお見受けしました。それは、どんなお薬よりも、恋心が一番効果的なようです。

「好きな人と会話を楽しんだり、手をつないで散歩をしたり…コロナ禍でお休みしていた恋を、そろそろ高齢者も取り戻さねばなりません。」
「これは、あくまで肉体のお話。笹本さんのご著書を読むと、「肉体は枯れても、心はいつまでも枯らさない」ことこそが、100歳を超えても元気に生きる鍵であるとお見受けしました。それは、どんなお薬よりも、恋心が一番効果的なようです。」
「好きな人と会話を楽しんだり、手をつないで散歩をしたり…コロナ禍でお休みしていた恋を、そろそろ高齢者も取り戻さねばなりません。」

「これは、あくまで肉体のお話。笹本さんのご著書を読むと、「肉体は枯れても、心はいつまでも枯らさない」ことこそが、100歳を超えても元気に生きる鍵であるとお見受けしました。それは、どんなお薬よりも、恋心が一番効果的なようです。」

「好きな人と会話を楽しんだり、手をつないで散歩をしたり…コロナ禍でお休みしていた恋を、そろそろ高齢者も取り戻さねばなりません。」